



千厓文庫
文庫24
A169



文庫
A169

小
屋
道
風

秋
林

防

何
世
上
田
不
探
鳥
籠
書



新の難人女以弟是事か
甥は事とて笑ふ事亦事
川女事とて事亦事とて
象へる事とて

如く事とて事とて事とて
之事とて事とて事とて
之事とて事とて事とて
之事とて事とて事とて
之事とて事とて事とて

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

吾人多患矣了 也其其
清也 乃其乃其乃其
世其乃其乃其乃其乃其
久河新志在東東東東東
尔保尔尔尔尔尔尔尔
以百布志難一如其波以
其其其其其其其其其
其其其其其其其其其

昔の回子の家に入るのよし有
めり家に入る事も有る也
う末程の年一安の年と見え
に社に

この家ははるかに地味である
去る郷にこの家の事を知る
はるおのりかきお母さん
もはるかに

美修之乃也
每即名修如
詩乃未不用地
如比名修

新修志之
南修之
修之乃未不用地
修之乃未不用地

ふもあふしうたのくまの
のまも也 海にうたふ
あはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれ

東見難山
多介一
理此得乃
不事社

之志之
東安安
社者
好有之

草書也
久軒也
海也
在也

社也
也
也
也
也
也

人難老の事か
種々子多
たもた
と先

孝女
種々
と先
たもた

私の心は此の如く

申す所は此の如く

申す所は此の如く

社

係理は此の如く

は此の如く

系理は此の如く

は此の如く

志の羅末持也守の礼
如久のハキ新安
社名末方難上末如る
安難守乃如平
意久造之 安羅新
初の守末方難上末如
阿末乃如る守末如
出平九田法

とて先づのりしは皆む教
を以て其の如く事なす也
はとての果れ久敷縁面
契あふ事なる也

難人あらず者も久敷
清の未だれふ地と安社
は清の理未事の時
若くもしは清の事

物契甚久，雅志未已。
如蒙以爲安，未乃。其
此亦已。法每子母。其
中亦由釋久。

小雅道風

婦里如名是於... 年ノ末毛... 平治の出、名... 龍冬... 原... ことより由... 尔...

宣和政九年... 正月

度... 及記

董太史戲鴻堂帖中收 日本皇子書

蘓長公謂如唐人學二王之筆迹也蓋

唐土稱 國朝書者有故宮海傳法

於前道風專美於後余嘗觀雜波

三完正誼所刻秋萩帖草體圓美決

非宋以下之所能作也惜刻刻不妙

頗失於清瘦一日得上毛某家所藏
雙初形色甚古字亦多肉美大類晉
唐之華迨余所手摹一本以嚴焉友
人度會氏亦摹一本今歲丁巳井清
風者謀請度會氏將以上未請生本
以按之刻既成矣與真無二嗚乎公
當延天之際抗心學古攀乎晉提唐
足以歷海外之人也清風之舉可
嘉哉因聊記其事以予焉

寬政丁巳仲冬 吳橋木齋之



文化十三丙子年求板 東林 市公 全堂文閣藏

